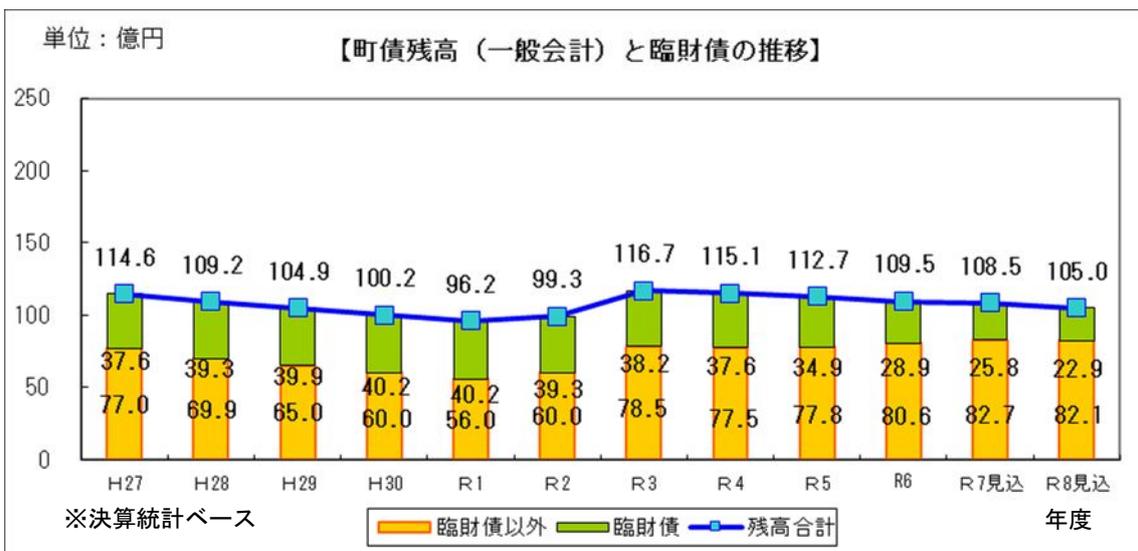
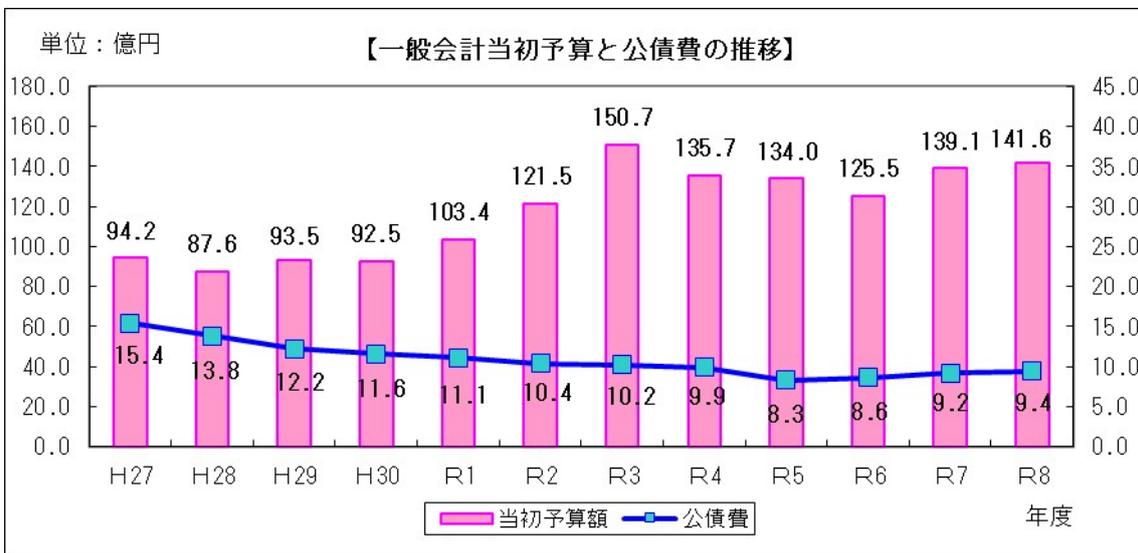
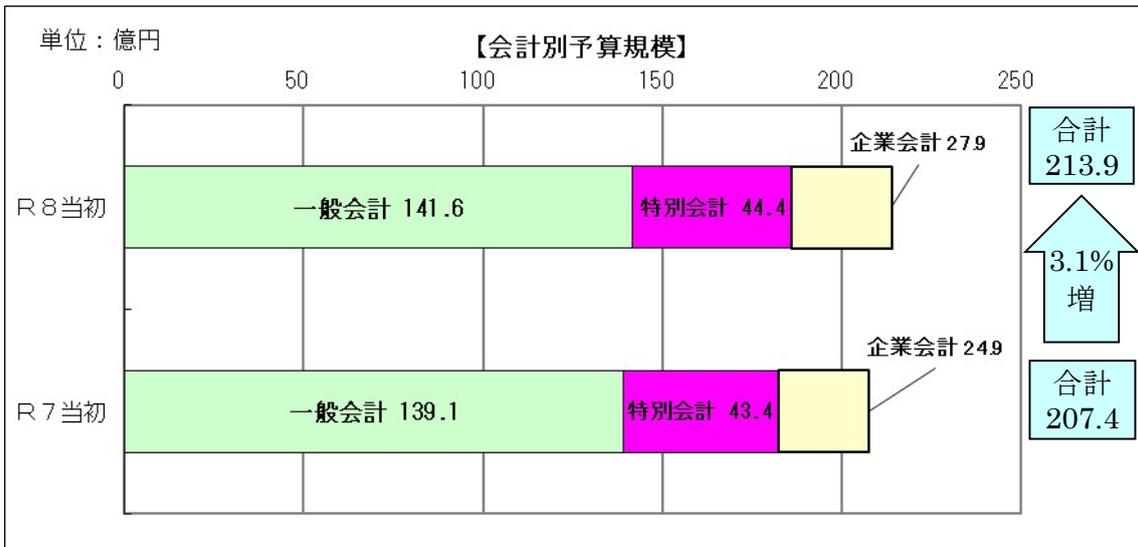
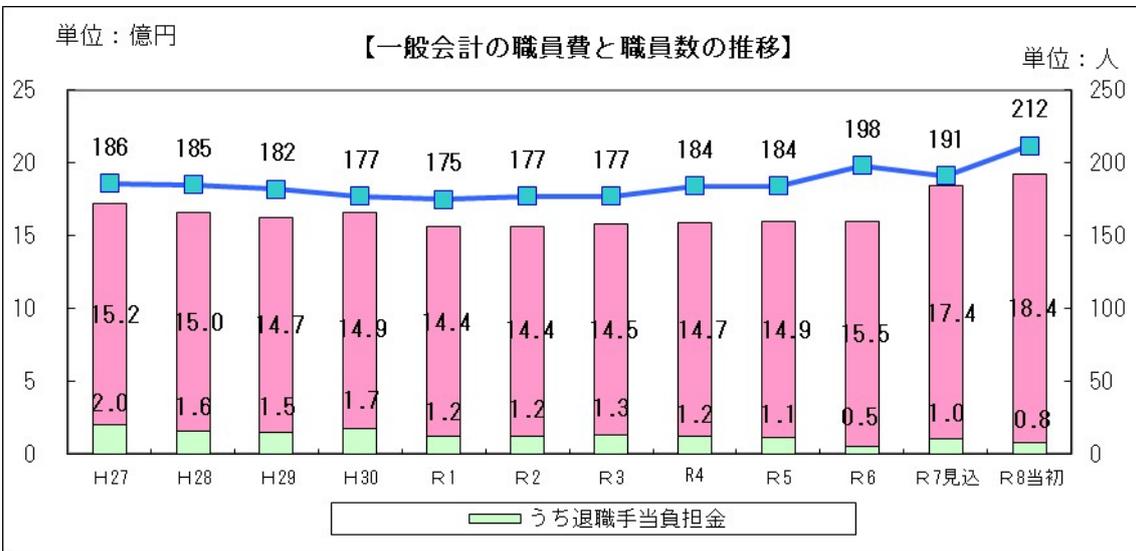
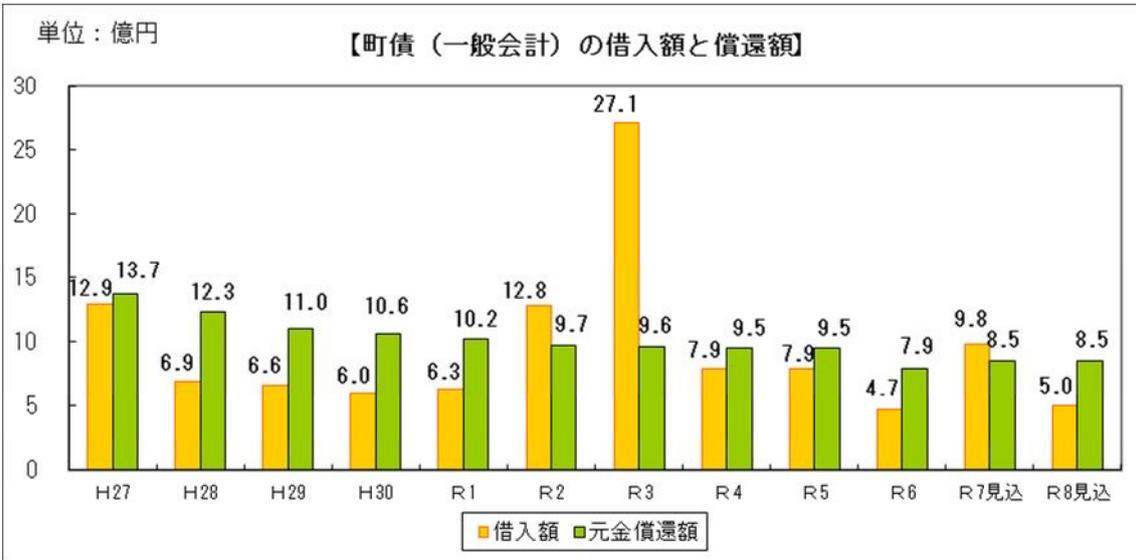


令和 8 年度
当初予算の概要（資料編）

当別町総務部財政課

■ 令和8年度 一般会計当初予算の全体像





性質別経費の状況（一般会計）

（単位：千円・％）

性質別名称	令和8年度		令和7年度		比較	
	総額	構成比	総額	構成比	増減額	増減率
消費的経費 (A)	10,425,823	73.6	10,294,380	74.0	131,443	1.3
義務的経費	4,214,797	29.8	4,021,208	28.9	193,589	4.8
人件費	2,082,385	14.7	1,928,642	13.9	153,743	8.0
扶助費	1,194,663	8.5	1,173,618	8.4	21,045	1.8
公債費	937,749	6.6	918,948	6.6	18,801	2.0
その他	6,211,026	43.8	6,273,172	45.1	▲ 62,146	▲ 1.0
物件費	2,407,001	17.0	2,629,651	18.9	▲ 222,650	▲ 8.5
維持補修費	896,401	6.3	851,494	6.1	44,907	5.3
補助費等	2,907,624	20.5	2,792,027	20.1	115,597	4.1
その他経費 (B)	2,820,559	20.0	2,466,321	17.7	354,238	14.4
積立金	1,408,895	10.0	1,161,737	8.3	247,158	21.3
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰出金	1,411,664	10.0	1,304,584	9.4	107,080	8.2
貸付金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
投資的経費 (C)	904,223	6.4	1,147,888	8.3	▲ 243,665	▲ 21.2
普通建設事業費	904,223	6.4	1,147,888	8.3	▲ 243,665	▲ 21.2
補助事業	529,775	3.7	611,381	4.4	▲ 81,606	▲ 13.3
単独事業	320,715	2.3	476,014	3.4	▲ 155,299	▲ 32.6
道営事業	21,500	0.2	22,125	0.2	▲ 625	▲ 2.8
受託事業	32,233	0.2	38,368	0.3	▲ 6,135	▲ 16.0
災害復旧事業費		0.0		0.0	0	0.0
予備費 (D)	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
合計(A)+(B)+(C)+(D)	14,155,605	100.0	13,913,589	100.0	242,016	1.7

令和8年度 当初予算における主な事業

※（ 千円）は、前年度当初予算額

【 危機対策課 】

●戦略プランⅣ 住み続けたいまちの形成

○ 全国瞬時警報システム(J-ALERT)機器更新等業務（新規）

款：2 項：1 目：1

事業費：11,462千円（0千円）

国が運用する「全国瞬時警報システム（J-ALERT）」が第2世代から第3世代システムへ更新されることに伴い、令和9年度以降、既存機器では新規格の警報信号の受信が不可能となることから、受信設備一式の更新を実施し、緊急情報伝達の即時性および確実性を維持するとともに、安定的な運用体制の継続を図る。

【 企画課 】

●戦略プランⅡ 人を呼び込むまちの再生

○ 交通事業者運転手確保対策事業（継続）

款：2 項：1 目：4

事業費：750千円（750千円）

地域の足となる公共交通に従事する人員不足が深刻な課題となっていることから、地域公共交通を維持し移動手段の提供体制を整えるため、国の人材確保支援制度を活用し、一般乗合旅客自動車運送事業を営む事業者に対し、地域公共交通の運転業務に従事する職員の大型二種免許取得に関する経費の一部を支援する。

○ 当別町コミュニティバス運行事業（継続）

款：2 項：1 目：4

事業費：27,380千円（27,083千円）

「当別町コミュニティバス（当別ふれあいバス）」の運行主体である当別町地域公共交通活性化協議会に対し負担金を支出し、官民共同によるコミュニティバスの運行を継続する。

○ JR 札沼線代替バス(月形当別線)運行事業補助金（継続）

款：2 項：1 目：4

事業費：21,604千円（25,373千円）

札沼線（北海道医療大学駅-新十津川駅間）の代替交通として JR 当別駅-旧石狩月形駅間を運行するバス事業に対して、月形町とともにバス運行に係る経費の補助を行う。

●その他の事業

○ 当別町総合計画・総合戦略策定支援業務委託（新規）

款：2 項：1 目：4

事業費：6,946千円（0千円）

当別町第6次総合計画の次期計画として、総合的かつ計画的なまちづくりを進めるための新しい総合計画とともに、総合計画と整合性のある総合戦略を策定する。

【 事業推進課 】

●戦略プランⅣ 住み続けたいまちの形成

○ 新庁舎建設不動産鑑定評価事業（新規）

款：7 項：4 目：1

事業費：305千円（0千円）

新庁舎建設に伴い、建設候補地の民有地取得に向けて、取得交渉の前提となる価格把握のため、不動産鑑定を実施する。

○ 新庁舎建設基金積立（新規）

款：7 項：4 目：1

事業費：300,000千円（0千円）

新庁舎開庁時に発生する様々な費用負担に備えて、新年度から3カ年にわたり新庁舎建設基金の積み立てを実施する。

【 セールス戦略課 】

●戦略プランⅡ 人を呼び込むまちの再生

○ 住宅購入支援金（継続）

款：2 項：1 目：4

事業費：60,000千円（60,000千円）

住宅建築費の高騰により支援金の重要性が一層高まっていることを踏まえ、当別町の定住人口の増加を図ることを目的として、町内に住所を有する新築住宅の建築及び建売住宅の購入並びに中古住宅の購入に対する補助を継続して行う。

○ 高等学校等生徒通学交通費助成事業（継続）

款：2 項：1 目：4

事業費：9,600千円（9,600千円）

高等学校等の教育に係る費用の中で高い割合を占める通学費への支援を引き続き行う。

また、令和8年度から助成率を引き上げ、支援の拡充を図ることで、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、移住・定住を促進する。

【 デジタル都市推進課 】

●戦略プランV デジタル基盤の構築

○ 情報発信デジタル基盤構築事業（継続）

款：2 項：1 目：2

事業費：2,068千円（9,185千円）

住民の属性や関心分野に応じた LINE 公式アカウントのセグメント配信機能と、町ホームページと連動した自動通知機能を整備し、必要な情報を迅速かつ確実に提供できる情報発信体制を構築する。

○ 業務自動化システム運用事業（継続）

款：2 項：1 目：11

事業費：5,187千円（5,214千円）

持続可能な行政サービスを提供し続けていくため、RPAの活用による行政事務の効率化とサービス品質の向上を図る。

【 環境生活課 】

●戦略プランI 産業力の強化

○ 町内会街路灯 LED 化事業（継続）

款：2 項：1 目：7

事業費：2,430千円（1,425千円）

環境負荷が少ない省エネルギー効果のある LED 街路灯の設置を促進し、犯罪のない安心・安全なまちづくりを推進するため、町内会街路灯の LED 化への補助を行う。

（令和8年度最終年）

●その他の事業

○ 町内会運営費補助金（継続）

款：2 項：1 目：7

事業費：8,190千円（9,195千円）

町内会活動は、防犯、交通安全、高齢者の見守りなどに加え、町民を災害から守り、安心・安全に暮らすことのできるまちづくりに非常に重要な役割を果たしている。地域の根幹を支えるコミュニティ活動の推進を図るため、町内会活動に係る経費や町内会街路灯の維持費、ゴミステーション整備に係る経費への補助を行う。また、現役世代や若者が、主体的に企画する事業の実施や、参加しやすさに配慮した町内会事業への補助を行うため、新たに「地域コミュニティ活性化事業費」を新設し、町内会の活性化への支援を行う。

【 保健福祉課 】

●戦略プランⅢ 未来を担う子どもの育成

○ 子ども医療費助成事業（継続）

款：3 項：2 目：1

事業費：50,055 千円（36,594 千円）

保護者の所得制限を撤廃し、0歳から18歳の年度末までの通院・入院医療費の助成を行うことで、広く子どもの健康増進と子育て世代の経済的負担軽減を図る。

●戦略プランⅣ 住み続けたいまちの形成

○ 医療人材確保支援事業（新規）

款：4 項：1 目：1

事業費：5,703 千円（0 千円）

医療人材確保に向けた対策として、人材紹介に関する経費を助成し、医療機関等において必要な医療従事者の確保ができるよう支援する。

○ 健康マイレージ事業（継続・拡充）

款：4 項：1 目：5

事業費：400 千円（116 千円）

市民の疾病予防や生活習慣の改善に向けた健康意識の向上や、各種健診を受けることでの疾病の早期発見・予防を目的として、各種保健事業に参加した方に対し、とうべつ EZOCA ポイントを付与する。

【 介護課 】

●戦略プランⅣ 住み続けたいまちの形成

○ 高齢者外出支援タクシー料金助成事業（新規）

款：3 項：1 目：2

事業費：8,520 千円（0 千円）

移動手段の確保が困難な高齢者世帯に対し、タクシー利用券を交付することで、通院や地域活動等への外出を支援し、社会的孤立の防止及び生活の質の向上を図る。

○ 介護人材確保支援事業（継続）

款：3 項：1 目：2

事業費：2,700 千円（2,700 千円）

介護人材確保に向けた対策として、人材紹介に関する経費を助成し、事業所において必要な介護職員の確保ができるよう支援する。

○ 就労系事業所等通所交通費助成事業（継続）

款：3 項：1 目：4

事業費：2,004 千円（2,004 千円）

自立促進を目的とした就労訓練事業所（B 型・就労移行支援）へ通所している障がい者に対して、公共交通機関等を利用して通所した際の交通費を助成することで負担軽減を図り、継続就労、社会参加ができるよう支援する。

【 子ども未来課 】

●戦略プランⅢ 未来を担う子どもの育成

○ 乳児等のための支援給付事業(こども誰でも通園制度)（新規）

款：3 項：2 目：3

事業費：16,701 千円（0 千円）

すべての子どもたちの健やかな育ちを応援し、子育て家庭の孤立を防ぐため、保護者の就労状況に関わらず、0 歳 6 ヶ月から満 3 歳未満の未就園児が保育施設を定期的に利用できるようにする。

○ 保育士等就労支援事業（継続・拡充）

款：3 項：2 目：3

事業費：13,800 千円（3,950 千円）

こども誰でも通園制度が本格実施されることに伴い、受け皿となる町内認定こども園において保育人材の安定的な確保が必要となることから、既存制度の給付額及び加算額を増額して、保育士の確保及び離職を防止するとともに、町内居住を促していく。

○ 子育て世帯訪問支援事業（新規）

款：3 項：2 目：4

事業費：740 千円（0 千円）

当別町こども家庭センターを設置し、妊娠期から切れ目のない支援強化を推進するにあたり、食事、生活習慣等に支援を必要とする保護者や、産後に虐待へ発展する恐れのある特定妊婦等に対し、家事援助や育児の助言を行うことで虐待リスクの高まりを未然に防ぐ。

【 農務課 】

●戦略プランⅠ 産業力の強化

○ 担い手確保推進事業（継続）

款：5 項：1 目：2

事業費：10,526 千円（8,786 千円）

款：12 項：1 目：1

当別町農業総合支援センターを中心とした新たな担い手への研修や就農に向けた支援（農業経営塾の開催、地域おこし協力隊制度の活用）を行うとともに、就農意欲の高い農外参入者の確保に向けて新規就農フェア等に出展する。

○ 6次産業化・販路拡大推進事業（継続）

款：5 項：1 目：2

事業費：4,300千円（4,300千円）

当別町農業10年ビジョンの重点施策として位置付けしている加工品のブランド化を推進するため、新たなブランド製品の創出に向けた6次産業化の研修会や商談会を開催し、農業者と飲食店や加工業者の連携を強めるとともに、新たに6次産業化に取り組む農業者に対し、施設や機械の導入を支援する。

○ 農業DX化推進事業（継続）

款：5 項：1 目：2

事業費：10,250千円（10,000千円）

当別町農業10年ビジョンに掲げる経営目標の実現に向け、「花き共選場における自動選別機の導入」、「経営改善支援システムの導入」、「花きの輸出」の取り組みをAIやデジタル技術を活用し総合的に推進する。

【 産業振興課 】

●戦略プランⅠ 産業力の強化

○ 市街地空き店舗等活用促進事業（継続）

款：6 項：1 目：1

事業費：7,231千円（7,231千円）

町が指定する区域内において、空き店舗等を活用し、店舗や事務所を開設する事業者に対して開業資金の一部を支援し、市街地活性化及び地域経済の発展を図る。

○ 当別町アパート・マンション引越応援事業（継続）

款：6 項：1 目：1

事業費：6,075千円（7,593千円）

町外から町内のアパート・マンション等への入居を促進することで、町内小売りや飲食店等の利用を促進し、北海道医療大学移転による町内経済への影響の低減を図る。

【 観光振興課 】

●戦略プランⅠ 産業力の強化

○ 当別町地域間交流拠点施設(道の駅)指定管理業務（継続）

款：6 項：1 目：3

事業費：50,001千円（44,855千円）

指定管理により、「北欧の風 道の駅とうべつ」の管理運営を行う。

●戦略プランⅡ 人を呼び込むまちの再生

○ 当別町観光協会補助金（継続）

款：6 項：1 目：2

事業費：5,781千円（3,005千円）

町内への誘客を促進し、地域経済の活性化を図るため、各種イベントへの参画や道内外での観光プロモーションの実施、姉妹都市との連携交流事業など、各種事業に対して補助を行う。

【 ゼロカーボン推進室 】

●戦略プランⅠ 産業力の強化

○ 林業専用道(規格相当)「本中小屋線」開設事業（継続）

款：5 項：2 目：2

事業費：21,120千円（6,743千円）

国費補助を利用し、本中小屋の森林に林業専用道（規格相当）を開設し、適切な森林管理、安定的な事業量の確保、効率的な森林整備を行うための基盤を整備する。

○ 森林資源活用促進事業（新規）

款：5 項：2 目：2

事業費：1,000千円（0千円）

森林環境譲与税を利用し、町内の薪等林産物の利用促進のために補助を行うことで、森林整備の推進、持続可能な地域林業の支援と将来の優良資源の確保、地元資源活用の推進を図る。

○ 再生可能エネルギー設備導入推進事業（継続）

款：5 項：2 目：3

事業費：88,872千円（26,664千円）

国、道の補助金を活用し、町内の個人及び事業者に対して再生可能エネルギー設備（太陽光発電設備・蓄電池等）の導入を補助する。

【 建設課 】

●戦略プランⅠ 産業力の強化

○ 道路照明施設更新事業（継続）

款：7 項：2 目：4

事業費：50,000千円（38,500千円）

個別施設計画に基づき、老朽化が著しく早期に措置を講ずる必要のある、ハルニレ大通線外10路線の照明施設をLEDにすることにより、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を図る。

●戦略プランⅡ 人を呼び込むまちの再生

○ 町道中通線道路改修事業（新規）

款：7 項：2 目：4

事業費：23,000千円（0千円）

町道中通線は当別町役場から商店街に続く道路である。近年経年的な不陸が生じ、雨水が溜まり交通に支障をきたしている。本事業で車道を改修することにより、利用者の安全性を確保する。

○ 町営住宅等長寿命化事業（継続）

款：7 項：5 目：1

事業費：132,279千円（150,398千円）

町営住宅等長寿命化計画に基づき、各町営住宅の適切な維持管理及び末広団地 11 棟 42 戸の解体を進め、集約化を図る。また、住生活基本計画及び町営住宅等長寿命化計画において、町内情勢の変化に伴い、町営住宅の供給目標戸数、整備方法の見直しを図る為改訂を行う。

●戦略プランⅢ 未来を担う子どもの育成

○ 阿蘇公園バックネット改修事業（新規）

款：7 項：4 目：2

事業費：7,000千円（0千円）

阿蘇公園は、昭和55年に設置された野球場の他、複合遊具、修景池等もあり、夏冬ともにイベントが開催される本町地区の主要な公園である。

令和7年度春の強風によりバックネットが倒壊し、現在撤去後簡易的なネットを張り仮復旧している状態であり、延長20m高さ4mの防球ネットでの修繕を実施する。

○ 公園施設長寿命化事業（継続）

款：7 項：4 目：2

事業費：70,000千円（88,080千円）

公園施設長寿命化計画に基づき、遊遊公園の複合遊具の更新、阿蘇公園のトイレ更新設計を行い、子育て世帯及び幅広い世代に向けて『憩いの場』としての公園機能の再生を図る。

●戦略プランⅣ 住み続けたいまちの形成

○ 町道除排雪事業（継続）

款：7 項：2 目：2

事業費：688,800千円（669,800千円）

冬期間において、快適な町民生活及び産業・経済活動を確保するため、当別町除排雪連絡協議会、除排雪業者と連携を図りながら、効率、効果的な除排雪作業を行う。

○ 雪堆積場整備事業（新規）

款：7 項：2 目：2

事業費：73,768 千円（0 千円）

現行の堆雪場より距離が近い新たな堆雪場を整備し、排雪時間と事業費の削減を図ることで、持続可能な除排雪体制の構築を図る。

○ 橋梁長寿命化修繕事業（継続）

款：7 項：2 目：4

事業費：233,400 千円（223,500 千円）

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化が著しく早期に措置を講ずる必要のある、治水橋の長寿命化修繕工事を実施し、施設の延命を図り、安心・安全な道路環境を確保する。

○ 町道文京通二号線外道路改良事業（継続）

款：7 項：2 目：4

事業費：33,000 千円（38,000 千円）

町道文京通二号線及び美里二号線は昭和 63 年に舗装工事が実施され、供用後 30 年以上が経過しており、これまでに沈下や凍上の影響により、路面や排水設備の不具合が発生しているため、路盤及び舗装の打換えを行い、機能回復を図る。

○ 町道十六線道路改修事業（継続）

款：7 項：2 目：4

事業費：12,000 千円（12,000 千円）

町道十六線はあいあい公園に接道する道路であるほか、西部地区では主要道道を結ぶ交通量の多い道路となっているが、近年、現道は片側 1 車線が大きく変位しており、車両走行に支障をきたしているため、原形に復旧し道路交通の機能回復を図る。

○ 町道篠津運河線道路改修事業（新規）

款：7 項：4 目：2

事業費：45,000 千円（0 千円）

町道篠津運河線は、新篠津村と江別市を結ぶ交通量の多い主要道路である。昭和 53 年度に造成されてから約 47 年経過しており、経年により特に融雪時期にポットホールが多発し、交通に支障をきたしている状況である。また、これまで応急的な補修を行ってきたが、近年補修費も増加傾向にあり、今後も増加することが予想される。そのため本事業でオーバーレイによる車道の改修を実施する。

○ 河川浚渫事業（継続）

款：7 項：3 目：3

事業費：25,000 千円（25,000 千円）

町内の河川において、土砂の堆積により流下能力が低下しており、集中豪雨時の河川氾濫被害防止対策として、堆積土砂を除去し、河川の機能回復を図る。

【 上下水道課 】

●その他の事業

○ 水道管路更新事業（継続）

※水道事業会計

款：1 項：1 目：1

事業費：183,403千円（139,920千円）

計画的に水道管路を更新することにより、町民に安心・安全な水道水を安定的に供給する。

○ 下水道管渠更新事業（継続）

※下水道事業会計

款：1 項：1 目：1

事業費：365,200千円（134,750千円）

計画的に下水道管渠を更新することにより、町民の安心で快適な暮らしを確保する。

【 教育委員会 学校教育課 】

●戦略プランⅢ 未来を担う子どもの育成

○ 学校給食無償化事業（新規）

款：9 項：1 目：5

事業費：42,017千円（0千円）

国が進める、小学生の学校給食無償化に加え、町独自で中学生の学校給食無償化を行う。

○ 教育施設改修計画策定事業（新規）

款：9 項：2 目：3

事業費：6,993千円（0千円）

老朽化の進む教育施設について、専門的な知見による現状把握や改修が必要な箇所の調査を実施する。

○ 遣岩出山生徒使節団事業（新規）

款：9 項：2 目：2

事業費：730千円（0千円）

町内の子どもたちが姉妹都市について学習する機会を創出することを目的として、宮城県大崎市岩出山に町立学校の生徒等を派遣する。

○ 学校給食物価高騰対策事業（継続）

款：2 項：1 目：12

事業費：11,848千円（6,305千円）

食材等の物価高騰が続くなか、学校給食栄養摂取基準を充たし、安心・安全な学校給食を維持していくため、給食材料費の補填を行う。

【 教育委員会 社会教育課 】

●戦略プランⅢ 未来を担う子どもの育成

○ 学校部活動地域展開推進事業（継続）

款：9 項：4 目：1

事業費：14,748千円（9,490千円）

款：12 項：1 目：1

子どもたちが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる体制を整備するため、学校部活動を一部種目において地域クラブ化し、部活動地域展開を推進する。

○ 当別町総合体育館キュービクル改修事業（新規）

款：9 項：4 目：3

事業費：35,000千円（0千円）

安心安全に利用できる公共施設維持管理のため、老朽化した総合体育館キュービクルの改修を実施する。

☆令和7年度当初予算計上 終了・廃止等の主な事業

- GIGA スクール（1人1台端末）更新事業 75,225千円

☆令和7年度予算 繰越事業

- 社会保障・税番号制度システム整備事業 3,575千円
- 物価高対応子育て応援手当支給事業 41,430千円
- 物価高騰対策地域ポイント給付事業 107,000千円
- 水道料金減免事業 112,268千円